



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18
電話03-3431-2822 FAX 03-3434-5698
E-mail:st-andrew.tko@nssk.org
電話礼拝 03-3431-0250
Web:http://www.st-andrew-tokyo.com

(週報掲載/Web 動画配信中)

聖霊降臨後第 20 主日

2021 年 10 月 10 日

礼拝案内

※現在、主日(日曜日)午前中の礼拝は“公開休止”
となっています。

参列されたい方は牧師とご相談ください。

礼拝参加にあたって

- ※教会ホームページより動画で配信されています。
(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)
- ※歌いまたは唱えるところは、小声で、または心の中で唱えます。
- ※マスクを着用し、礼拝中、席の移動はお控えください。
- ※体調や、気分の不調のときは、遠慮なくお申し出ください。

＋午前 7 時 30 分 聖餐式
聖歌 453 412 420
司式・説教：主教 高橋宏幸

＋午前 9 時 15 分
こどもとともにささげる礼拝 (休止中)

＋午前 10 時 30 分 聖餐式
司式：司祭 下条裕章

入堂聖歌 453

参入	1 頁(162 頁)
清めの祈り	1 頁(162 頁)
キリエ	2 頁(163 頁)
大栄光の歌	3 頁(164 頁)

特祷 (特定 23)

わたしたちの避けどころ、力であり、また信仰の源である神よ、どうか主の教会が信仰をもって献げる祈りに耳を傾け、真心をもって願い求めることをかなえてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

み言葉

旧約聖書 アモ 5 章 6-7,10-15 節
詩篇 第 90 編 1-8,12 (週報 4 面)
使徒書 ヘブ 3 章 1-6 節

福音書前聖歌	517
福音書	マコ 10 章 17-27 節
説教	司祭 下条裕章
ニケヤ信経	
< 諸報告 >	
代祷 (代祷項目週報 2 面)	12 頁(168 頁)
懺悔	13 頁(170 頁)
聖餐	
平和のあいさつ	15 頁(171 頁)
奉献聖歌	412
奉献	15 頁(172 頁)
感謝聖別 [I] / [II]	16(173/176)頁

陪餐にあたって

- ※マスク着用のまま、お互いの距離をとり、案内に従って座席後方の通路を経て中央通路を聖卓に進みます。
- ※祝福を希望される方も同様に進みます。(順次ご案内しますのでしばし着席のままお待ちください。)
- ※陪餐の直前にマスクを外し、手指を消毒します。
- ※手のひらで、司祭からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。
- ※マスクを着け (必要があれば手指を消毒し) 席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。

陪餐聖歌	515
感謝	28 頁(182 頁)
祝福	28 頁(183 頁)
派遣	
退堂聖歌	420

＋午後 5 時 夕の礼拝
詩 111,112,113 ミカ 6:1-8 ルカ 7:36-50

聖アンデレ教会にはじめて来られた方へ

ようこそ教会へお越しくださいました。歓迎します。お聞きになりたいこと、分からないことなどありましたら、受付担当者までお声がけください。洗礼・堅信を受け、陪餐の許しのある方は、パンとぶどう酒をいただきます。また他の教派の教会で洗礼を受けて聖餐に与っている方の陪餐を許可し歓迎します。

本日の代祷 <敬称略>

I わたしたちの教会 - 全公会のため

聖アンデレ教会 (フランシス下条裕章司祭)

教会の諸活動、教会に関わる諸団体の働き

信徒・教役者 (スザンナ中村真希聖職候補生、
トマス日高馨輔執事) の宣教・奉仕の働き

東京教区 (フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)

聖アンデレ主教座聖堂、教区事務所、

聖オルバン教会 (カスリーン・カリネイン司祭)

礼拝音楽委員会、教財務サービス委員会

東日本宣教協働区 (北海道・東北・北関東・東京教区)

各教区と宣教協働委員会の働き

日本聖公会 (首座主教ルカ武藤謙一主教)

北関東教区のすべての教会、施設の働きのため

アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)

アナポリス 聖ピリポ教会

セヴァン 聖ステパノ教会

エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)

ゼバデー ペンマン診療所

全世界の聖公会

(ジャスティン・ウェルビー カンタベリー大主教)

西アフリカ聖公会

日本キリスト教協議会 (NCC) の働き

ACT Alliance の人道支援活動を覚えて

CWS JAPAN

II 正義と平和の実現のため

戦争の終結、世界の平和と和解の実現のため

日本国とアジアの諸国の人びと

世界各国・地域の指導的立場の人びと

III 隣り人のため

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの
家族、友人、同僚、心にかけている人びと

愛と正義と平和の実現のために働く人びと

困難な人びとを支える働きのため、浅草聖ヨハネ

教会日曜給食活動、こども食堂に関わる人びと

洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人、

また入信の志願者が与えられるため

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと

この地域で生活し、働いている人びと

今月の代祷・信施奉献先

- ・野宿生活者支援のため (浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動、笹島キリスト教連絡会、ちかちゆう給食活動、聖公会野宿者支援活動・渋谷)
- ・薬物依存リハビリ施設の働きのため (特非・東京ダルク)
- ・聖救主教会キッドスクール (幼稚園) のため

IV 困難な状況にある方々のため

感染症の収束のため、療養中、困難や悲しみの中
にある人びと、医療と看護、支援に携わる人びと
震災や風水害、世界各地の自然災害の被災者、また

原子力発電所事故の被災者

戦争や暴力、犯罪や差別、また軍事基地の存在の

ため、いのちの危険を感じている人びと

自由を奪われ、拘束されている人びと

住む場所を追われた人びと

病床にある方々を覚えて <50音順>

V 逝去記念

本日・今週の予定

10日(日) 聖霊降臨後第20主日(特定23)

7時半 聖餐式
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

17日(日) 聖霊降臨後第21主日(特定24)

7時半 聖餐式
10時半 聖餐式
イザ 53:4-12 詩 22:19-28
ヘブ 4:12-16 マコ 10:35-45
入堂聖歌 413 退堂聖歌 378
17時 夕の礼拝

11日(月) 7時半 礼拝

ロマ 1:1-7 詩 98 ルカ 11:29-32

※中村聖職候補生定休

13時 教会委員会(ZOOM)

14時半 午後2時46分の黙想と祈り(主教座)

12日(火) 7時半 礼拝

ロマ 1:16-25 詩 19:1-4 ルカ 11:37-41

13日(水) ロマ 2:1-11 詩 62:1-8 ルカ 11:42-46

※下条司祭定休

14日(木) 7時半 礼拝

ロマ 3:21-30 詩 130 ルカ 11:47-54

午後 収録・外出予定(下条・中村)

15日(金) 7時半 礼拝

ロマ 4:1-8 詩 32 ルカ 12:1-7

午前 外出予定(下条)

16日(土) 7時半 礼拝

ロマ 4:13,16-18 詩 105:6-10,41-44 ルカ 12:8-12

14時 パワーシフトキャンペーンミーティング(ZOOM)

18時半 教区教役者研修会

<お知らせ>

- ◇ 現在、「日曜日午前中の礼拝の公開は休止」しています。次主日・10月17日(Cグループ)より、順次公開を再開します。詳しくは、別紙案内をお読みください。
- ◇ 聖堂の扉は、日中(朝8時頃から夕方5時頃)開いています。個人の祈りや黙想が可能です。
- ◇ 聖堂の様子は、動画配信されています。教会ホームページの一番下、「聖アンデレ教会のいくつかの礼拝をこちらで配信しています」の「こちら」をクリックすると見ることができます。
- ◇ 主日・週日の礼拝は、上の動画配信のほか、礼拝電話(03-3431-0250)から音声を聴くことができます。
- ◇ 「週報」をメール(またはFAX)で受け取ることを希望される方は教会までご連絡ください。(教会ホームページには毎週掲載されています。)
- ◇ 教会連絡網への登録をお願いします。メールでの連絡(お知らせ、訃報等)をご希望の方は st.andrews.tokyo.office@gmail.com へ、(FAXで連絡をご希望の方は教会FAXへ)お名前と連絡先をお知らせください。
- ◇ 住所・連絡先に変更があるときは、教会まで早速ご連絡ください。
- ◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。「今、福音に聴く—マルコによる福音書の通読とメッセージ—」ほか。日々の信仰生活にお役立てください。

聖アンデレ教会広報チャンネル



<https://youtu.be/HoJyQiXqSC4>

※主日午前中、週日の礼拝は「聖餐式」または「みことばの礼拝」を用いて行なわれます。

- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご連絡ください。

詩編 第90編 1-8, 12

- 1 主よ、あなたは世々にわたって // わたしたちの住か
 2 山が生まれず、地と世界が造られる前から // 永遠から永遠にあなたは神
 3 あなたは人に「元に戻れ」と仰せになり // 人は塵に戻される
 4 あなたの目には千年も、過ぎ去った昨日のよう // 夜回りの一時にすぎない
 5 あなたは人を夢のように消し去る // 人は朝
- 6 朝には萌えて花を開くが // 夕べにはしおれて枯れる
 7 わたしたちはあなたの怒りに焼き尽くされ // 激しい憤りに恐れおののく
 8 あなたはわたしたちのとがをみ前に置き // 隠れた罪をみ顔の光であらわにされる
 12 残された日々を数えることを教え // 知恵の心を与えてください

今週のメッセージ

今日の旧約聖書は「アモス書」です。アモスは紀元前8世紀頃に北イスラエルで活躍した預言者ですが、何しろその激しく厳しい言葉の数々で有名な預言者です。

アモスの生きた時代、イスラエルの国は一時的に安定していたと言われています。安定し、豊かになった国に何が起こったかという、不平等と不正でした。一部の富裕層に富が集中し、貧しい人との差が激しくなりました。さらに、富を持つ者はその富を増やすべく、不正なやり方で貧しい人たちを踏みつけていたのでした。アモスはそんな社会の不平等、不正に目を向け、激しく怒りを燃やし、それを糾弾した預言者です。イスラエルの神は民の命を尊び、苦しみから救おうとされる方なのだから、そんな状況を見過ごすはずがない、それは「悪」でしかない、とアモスは語るのです。今日の箇所には述べられていませんが、アモスはそんな不正を行う者たちが実践する「祭儀」についても鋭く批判します。いくら信仰深さを装って、神を熱心に礼拝していたとしても、不正を正す行いが伴わないならそれは本当の意味で「祭儀」とは言えないのだ、と訴えています。それは現代を生きる私たちにとっても、決して看過できない、鋭い問いかけであるように思います。

さて、今日の福音では、イエスに従おうと教えを乞う1人の金持ちが登場します。「走り寄ってひざまずいた」姿からも、その熱心さを伺うことができます。そして、律法に記されている信仰者としての教えは「すべて守ってきた」信仰深い人物でもあったのでしょうか。もしかするとこの人物はそのような自分の生き方に自信を持っていたのかもしれませんが。イエスに会って「あなたはそのまま充分だから、何もなくても大丈夫だよ」と太鼓判を押されたかったのかもしれませんが。イエスは彼の正しさ・忠実さ、そして弱さや傲慢さをも「見詰め」「慈しんで」語ります。「あなたに欠けているものが一つある。」それは持っているものを捨て去り、貧しい人のために行動する、信仰を証しして生きる行動でした。

イエスの歩む道、十字架の道に従うことは、自分が満足できることではなく、自分にとって不本意なこと、時には辛いと思うことすら引き受けて、神を中心として生きる道。その覚悟が問われています。不正や不平等、不当な痛みを声を上げ、神の意思が実現するために働くこと。その証しがなければ、礼拝も、掟の遵守も、上滑りのものになってしまう。もちろん自己反省や自己批判にとどまることを推奨しているわけではありません。イエスはそれができない人間の弱さすら「慈しんで」見てくれている。その上で信仰を証しする十字架の道に私たちを招いているのです。そんなイエスの愛に応答し、私たちそれぞれの証しの道を歩んでいきたいと思えます。

聖職候補生 スザンナ中村真希

以下のホームページもご活用ください。

聖アンデレ教会



<http://www.st-andrew-tokyo.com/web/>

聖アンデレ主教座聖堂



<http://www.anglicancathedral-tokyo/>

日本聖公会東京教区



<https://www.nskk.org/tokyo/>